

第54期 中間株主通信 | 平成23年4月1日～平成23年9月30日



健康はキョーリンの願いです

キョーリンは生命を慈しむ心を買き、
人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。

Profile

持株会社体制

「キョーリン製薬ホールディングス株式会社」は、グループ統轄会社としてグループ全体の経営戦略機能を担い、経営資源の効率的な配分や運用を行うことでキョーリン製薬グループ全体の総合力を発揮し、連結業績の向上に努めています。

グループ体制図



中期経営計画「HOPE100 ―ステージ1―」の達成を目指し、 一層の企業価値の向上に取り組んでまいります。

本年3月に発生しました東日本大震災におきまして被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

平素よりキョーリン製薬グループに対しまして格別のご理解とご支援を賜り、誠に有難うございます。当社グループの平成23年4月1日から平成23年9月30日までの第54期第2四半期(以下「中間期」という)につきまして、事業の概況をご報告申し上げます。



当社グループは、「キョーリンは生命を慈しむ心を買き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します」という企業理念の具現化に向け、中核子会社である杏林製薬(株)の創業100周年

にあたる平成35年を見すえた長期ビジョン「HOPE100」及び中期経営計画「HOPE100―ステージ1―(平成22年度～27年度)」を策定し、平成22年度より活動を開始しました。

今年度は、その2年目として一層厳しさの増す経営環境下ではありますが、連結ベースでの業績向上を目指します。

これからも当社グループは、企業理念の具現化に向け、医薬品事業を中核とする多核的なヘルスケア事業ポートフォリオの構築により、「健康生活応援企業」への進化を図ります。

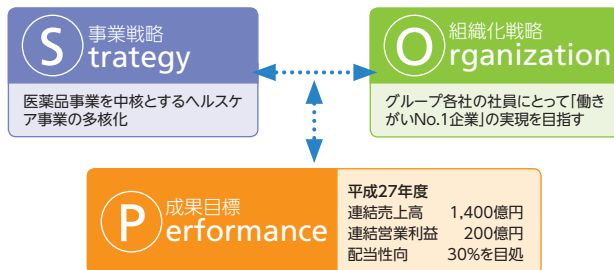
株主の皆さまには、引き続きなお一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

長期ビジョン「HOPE100(平成22年度～35年度)」

HOPE: Aim for Health Of People and our Enterprises

キョーリン製薬グループは、ヘルスケア事業を多核的に展開・発展させ、平成35年には社内外が認める健全な健康生活応援企業へと進化します。

中期経営計画「HOPE100―ステージ1―(平成22年度～27年度)」



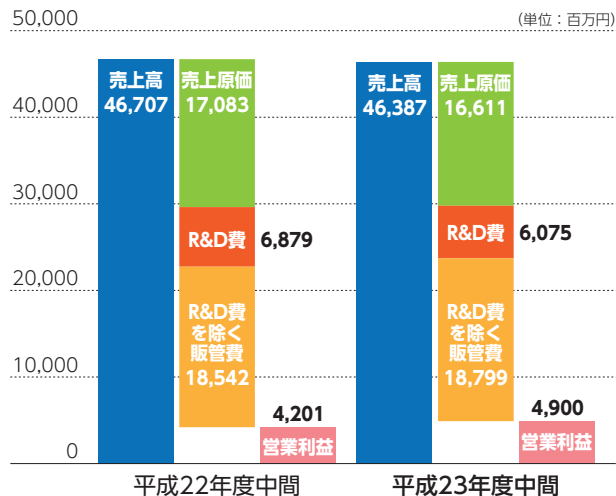
代表取締役社長 山下正弘

》》 当中間期の概況

当中間期における当社グループを取り巻く経営環境は、本年3月に発生した東日本大震災や原発事故、電力供給不安の影響等により低調な推移を余儀なくされました。国内医薬品業界では、低迷する経済情勢にあつて、企業間競争は激化し、経営環境は一層厳しさを増しました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「HOPE100-ステージ1-(平成22年度~27年度)」の2年目として、事業戦略である「ファーマ・コンプレックス・モデルの具体化」「ヘルスケア新規事業の創出と育成」の達成と共に、次年度に予定されている薬価基準改定などへの対応等に取り組み、持続成長とステークホルダーの皆さまからの支持・評価の向上に努めました。

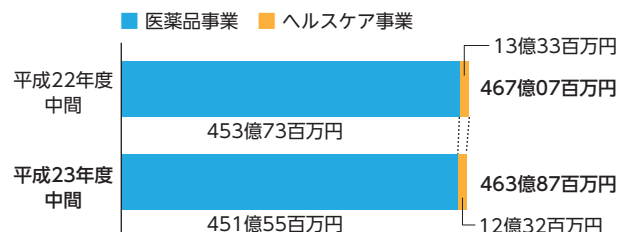
■ 損益の概要



この結果、売上高は463億87百万円と前年同期比3億20百万円(前年同期比0.7%減)の減収となりましたが原価率の低い自社製品の売上増加、工場稼働率の向上、製造費削減等により原価率は約1ポイント低下し、販売費及び一般管理費が研究開発費の減少により前年同期に対し5億47百万円減少したため、営業利益は49億00百万円と前年同期比6億99百万円(前年同期比16.6%増)の増益となりました。また、経常利益は52億53百万円(前年同期比15.6%増)、当四半期(中間)純利益は33億55百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

なお、当中間配当金につきましては、1株につき10円をお支払いさせていただきます。

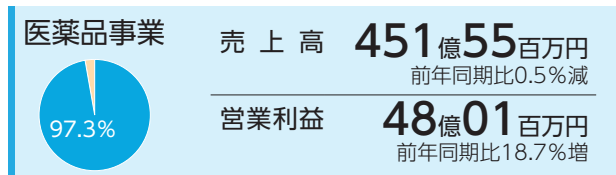
■ セグメント別売上高



■ 連結業績予想(通期) (平成23年11月8日公表数値)

売上高	1,051億円	(前年同期比 1.0%増)
営業利益	149億円	(前年同期比 9.4%減)
経常利益	156億円	(前年同期比 8.8%減)
当期純利益	101億円	(前年同期比 7.6%減)

セグメントの状況



国内新医薬品 呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科を中心とする特定領域の医師・医療機関に営業活動を重点化するフランチャイズカスタマー(FC)戦略及び卸店政策の強化により、製品の普及の最大化を推進し処方数量の増加、売上拡大に努めました。本年3月に発生した震災の影響もあり、売上高は381億29百万円(前年同期比1.1%増)と前年同期に対し若干の増加に留まりました。主要製品では、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレス」、過活動膀胱治療剤「ウリトス」が前年を上回る実績で推移しましたが、去痰剤「ムコダイン」、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペントサ」は前年を下回りました。

海外新医薬品 広範囲抗菌点眼剤「ガチフロキサシン(導出先:米国アラガン社)」の売上が前年を下回り、売上高は9億68百万円(前年同期比35.4%減)となりました。

後発(ジェネリック)医薬品 昨年度より推進されている後発医薬品の使用促進策等により保険調剤薬局への売上は増加したものの、全体では震災の被災地域にある販社の影響等により売上が減少し、売上高は40億97百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

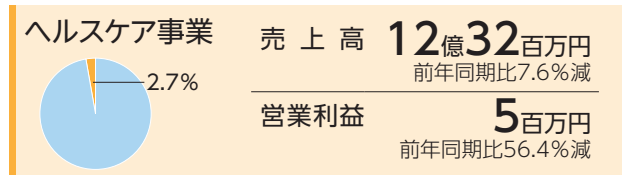
一般用医薬品他 主要製品である哺乳びん殺菌消毒剤「ミルトン」は営業力を強化することで前年の売上を確保しましたが、その他の製品売上が前年を下回り、売上高は19億59百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

この結果、当セグメントの売上高は451億55百万円(前年同期比0.5%減)となり、営業利益は48億01百万円(前年同期

比18.7%増)となりました。

研究開発の状況につきましては、世界に導出できる新薬の創出と提供が新薬メーカーとしての存在意義を高め、持続成長に結びつくと認識に基づき、自社創製品、導入品による特定領域における魅力ある新薬パイプラインの構築と既存品のライフサイクルマネジメント(新効能・効果取得、剤型追加)に積極的に取り組んでいます。自社創薬活動では、研究領域を呼吸器・泌尿器・感染症・その他に重点化し、効率のかつ効果的な新薬創製に努めています。

国内開発として潰瘍性大腸炎治療剤「ペントサ」の新用法・用量及び新剤型に関するPh(フェーズ)Ⅲ臨床試験、気管支喘息治療薬「KRP-108」のPhⅢ臨床試験等に積極的に取り組みました。また、耳鳴治療薬「KRP-209」のPhⅡ臨床試験及びニューキノロン系合成抗菌剤「KRP-AM1977X」のPhⅠ臨床試験を開始いたしました。その結果、研究開発費は、前年同期に発生した「KRP-108」のPhⅡb臨床試験終了等もあり60億75百万円(前年同期比11.7%減)となりました。

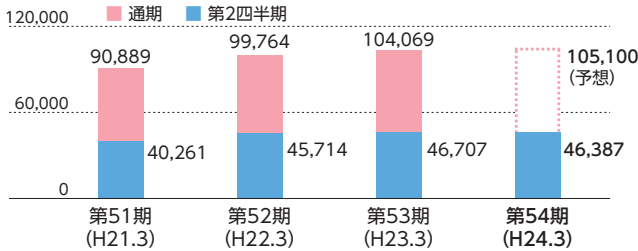


ナノカプセル技術を応用した化粧品事業を行うドクタープログラム(株)の売上が前年を下回る実績となりました。この結果、当セグメントの売上高は12億32百万円(前年同期比7.6%減)となり、営業利益は5百万円(前年同期比56.4%減)となりました。

売上高46,387百万円 ▶▶▶ 通期予想105,100百万円

前年同期比0.7%減

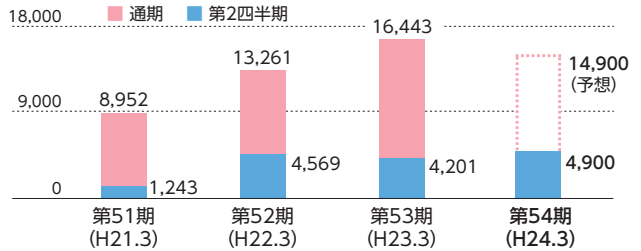
(単位: 百万円)



営業利益4,900百万円 ▶▶▶ 通期予想14,900百万円

前年同期比16.6%増

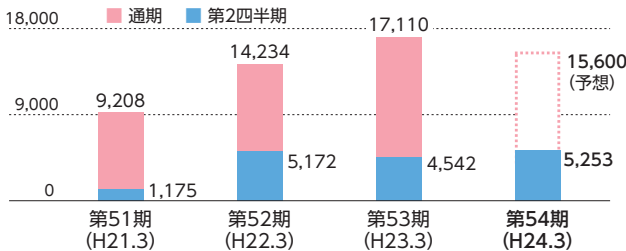
(単位: 百万円)



経常利益5,253百万円 ▶▶▶ 通期予想15,600百万円

前年同期比15.6%増

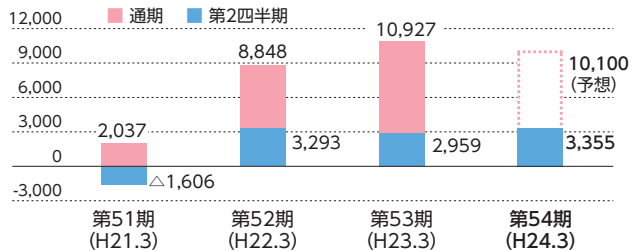
(単位: 百万円)



四半期(当期)純利益3,355百万円 ▶▶▶ 通期予想10,100百万円

前年同期比13.4%増

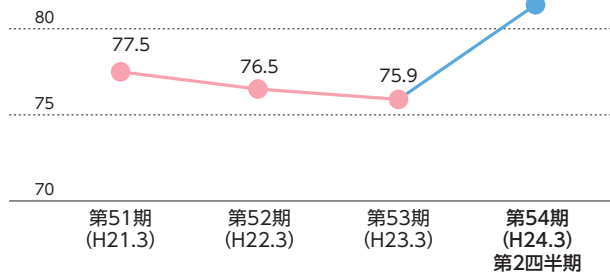
(単位: 百万円)



自己資本比率 81.4%

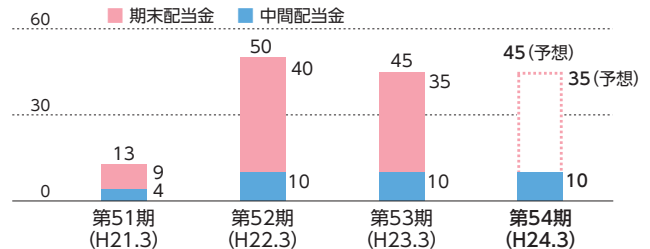
前期比 5.5 ポイント増

(単位: %)



配当金10円 ▶▶▶ 年間配当金予想45円

(単位: 円)



●四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当第2四半期末 平成23年9月30日現在	前期末 平成23年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	95,610	104,427
固定資産	42,830	42,806
有形固定資産	14,261	14,916
無形固定資産	713	816
投資その他の資産	27,855	27,073
資産合計	138,440	147,234
【負債の部】		
流動負債	21,143	30,421
固定負債	4,579	5,105
負債合計	25,723	35,527
【純資産の部】		
株主資本	112,808	112,076
資本金	700	700
資本剰余金	4,752	4,752
利益剰余金	107,668	106,928
自己株式	△312	△304
その他の包括利益累計額	△90	△370
純資産合計	112,717	111,706
負債純資産合計	138,440	147,234

●四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	46,387	46,707
売上原価	16,611	17,083
売上総利益	29,776	29,623
販売費及び一般管理費	24,875	25,422
営業利益	4,900	4,201
営業外収益	403	389
営業外費用	50	47
経常利益	5,253	4,542
特別利益	3	25
特別損失	16	11
税金等調整前四半期純利益	5,240	4,556
法人税、住民税及び事業税	1,860	1,405
法人税等調整額	24	191
四半期純利益	3,355	2,959

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）

	当第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	7,136	2,112
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,415	△898
財務活動による キャッシュ・フロー	△6,719	△3,198
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△28	△48
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△2,026	△2,033
現金及び現金同等物の 期首残高	26,665	21,556
現金及び現金同等物の 四半期末残高	24,638	19,523

主要子会社である杏林製薬(株)の主な取扱品目

当社グループの杏林製薬(株)は、呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科を重点領域として画期的新薬を創製し、医薬品事業を展開しています。同社の主要取扱品目は下記のとおりです。

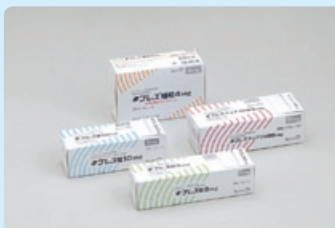
MUCODYNE



気道粘液調整・粘膜正常化剤

ムコダイン[®]

KIPRES



気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤

キプレス[®]

URITOS



過活動膀胱治療剤

ウリトス[®]

PENTASA



潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤

ペンタサ[®]

KETAS



脳血管障害・気管支喘息改善剤

ケタス[®]

活性型ビタミンD₃製剤
胃炎・胃潰瘍治療剤

ロカルトロール
アプレース

広範囲抗菌剤
哺乳びん殺菌消毒剤

バクシダール
ミルトン

主な開発品の動向 Products under Development

(平成23年11月現在)

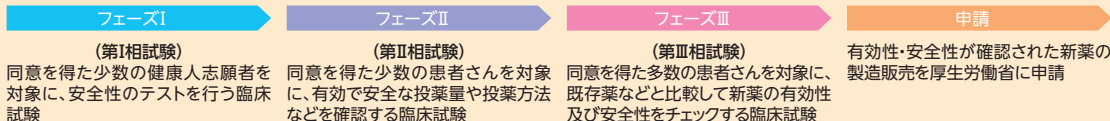
Ph I ~申請中

製品名・開発コード	薬効	起源	特徴	開発段階				
				フェーズI	フェーズII	フェーズIII	申請	
KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息治療剤	イギリス スカイファーマ社	ステロイド及び長時間作動型β作動薬の配合剤で利便性やコンプライアンスに優れる	国内	H22年8月			
				海外	スカイファーマ社 ムンディファーマ社			
ベンタサ (錠剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法・用量(1日1回投与)	国内	H21年12月			
ベンタサ (坐剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型(1日1回投与)	国内	H22年11月			
KRP-104	糖尿病治療剤	自社	インスリン分泌ホルモンの分解を抑えることにより血糖低下作用を示す。副作用の発現が少ない糖尿病治療が期待される	国内	H20年2月			
				海外	H19年9月			
KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	国内	H23年8月			
				海外	メルツ社			
KRP-203	自己免疫疾患、IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	国内	H22年12月			
				海外	ノバルティス H22年12月			
KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系合成抗菌剤	自社	薬剤耐性グラム陽性菌(MRSA含む)に対して優れた抗菌力 高い安全性が期待される	国内	H23年8月			

主な導出品の状況

製品名	導出先	薬効	起源	備考	開発段階				
					フェーズI	フェーズII	フェーズIII	申請	
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬(株)	緑内障治療薬	アメリカ アラガン社	アラガン社より導入(ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス)	国内	H23年3月			

開発プロセスの概要



■会社概要 (平成23年9月30日 現在)

商号	キョーリン製薬ホールディングス株式会社 (英文: KYORIN Holdings, Inc.)
事業内容	創薬ビジネス・医薬品事業等を営む子会社を中心とするグループ全体の経営戦略機能を担う持株会社
本社所在地	〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台2丁目5番地
設立	昭和33年(1958年)
資本金	7億円
従業員	78名(連結2,332名)

■株式の状況

発行可能株式総数	297,000,000株
発行済株式の総数	74,947,628株 (内、自己株式 219,102株)
当中間期末株主数	4,552名

■役員 (平成23年12月1日 現在)

取締役及び監査役	やま した まさ ひろ 山 下 正 弘
代表取締役社長	ひら い けい じ 平 井 敬 二
取締役	ほ がわ み の る 穂 川 稔
常務取締役	みや した みつ とも 宮 下 三 朝
常務取締役	まつ もと とみ はる 松 本 臣 春
取締役	おぎ はら ゆたか 荻 原 豊
取締役	みや した せい ゆう 宮 下 征 佑
常勤監査役	あ べ しげる 阿 部 茂
常勤監査役	お ぼた まさ じ 小 幡 雅 二
監査役 (社外)	ほん だ じゅん じ 本 田 淳 治
監査役 (社外)	ひろ た やす ゆき 廣 田 保 之
執行役員	
常務執行役員	いし ぎき たか よし 石 崎 孝 義
常務執行役員	い どう よう 伊 藤 洋
常務執行役員	かな い さとる 金 井 寛
執行役員	わた なべ はる き 渡 辺 治 樹
執行役員	おぎ はら しげる 荻 原 茂

キョーリン製薬グループ各社の概要(連結子会社)

杏林製薬株式会社

<http://www.kyorin-pharm.co.jp/>

キョーリン製薬グループにおける中核企業として、創薬ビジネスに注力し、画期的新薬を創製することで新薬メーカーとしての使命を果たし、かつ早期にビジネス展開していくことで医薬品事業の競争力強化を図っています。これからも個性的で存在意義のある健康貢献企業を目指して事業活動に取り組んでまいります。



主な事業内容 創薬研究 | 研究開発 | 製造 | 販売

キョーリン リメディオ株式会社

<http://www.kyorin-rmd.co.jp/>

キョーリン製薬グループのジェネリック医薬品事業子会社であり、「信頼される後発医薬品企業」を目指し、品質面での向上を図り、患者さんが安心して服用できる製品を供給しています。これからも品質保証・安定供給・情報提供を徹底し、特色のある・信頼される後発医薬品企業を目指します。



主な事業内容 研究開発 | 製造 | 販売

ドクタープログラム株式会社

<http://www.drprogram.co.jp/>

新規美容成分の研究や成分浸透技術の開発で培ってきた製薬発想のナノカプセル技術を製品づくりの基盤とし、創業以来、「安全で真に効果の高い」化粧品を提供することでお客様の支持と信頼を獲得し、成長を遂げてきました。今後もお客様の声に真摯に耳を傾け、新しい価値を創造し、女性の美と健康に貢献してまいります。



主な事業内容 スキンケア商品の開発と販売

キョーリン メディカルサプライ株式会社

<http://www.kyorin-ms.co.jp/>

本年4月に(株)杏文堂からキョーリン メディカルサプライ(株)に社名を変更しました。

従来事業活動に加え、新たに環境衛生事業に取り組みます。社会や個人が抱える健康や疾病の問題に対し、人々を取り巻く環境からアプローチすることで、健康生活応援企業として社会に貢献します。



主な事業内容
販売促進 | 広告の企画制作 | 環境衛生事業

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月に開催
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
単元株式数 1,000株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(お問合せ先) 〒168-8507
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
 みずほインベスターズ証券株式会社
 本店及び全国各支店
公告掲載紙 日本経済新聞

(ご注意)

1. 口座管理機関(証券会社等)の口座に株式をお預けの株主さまの場合
住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)が窓口となります。
株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまの場合
住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部(株主メモ参照)にお問合せ願います。
3. 同封の「配当金計算書」は、確定申告の際の参考資料としてご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主さまにつきましては、お取引の証券会社にご確認ください。
4. 未受領の配当金につきましては、左記取次所(株主メモ参照)及びみずほ銀行本店・全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内 <http://www.kyorin-gr.co.jp/>



株主の皆さまにタイムリーな情報をお届けいたしておりますのでぜひご覧ください。

ホームページサイト

キョーリン製薬グループについて	社長ご挨拶、企業理念・ビジョン、会社概要、グループ概要、組織図 等
事業内容	新医薬品・ジェネリック医薬品、ヘルスケア事業 等
株主・投資家情報	IRライブラリ、アニュアルレポート、有価証券報告書、株主総会招集通知 等
その他、グループ経営戦略、CSR活動 等	

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4569

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地 TEL:03-3293-3451(代)

